



2020年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月6日

上場会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション 上場取引所 東 名
 コード番号 1712 URL http://www.daiseki-eco.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 利彦
 問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部長 (氏名) 珍道 直人 TEL 052-819-5310
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	10,665	△2.0	1,009	38.6	1,066	44.0	622	42.3
2019年2月期第3四半期	10,892	5.4	728	5.0	740	4.8	437	0.7

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 786百万円 (74.9%) 2019年2月期第3四半期 449百万円 (△17.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	37.07	—
2019年2月期第3四半期	26.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第3四半期	22,084	12,953	56.1	738.69
2019年2月期	21,405	12,289	55.2	703.33

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 12,408百万円 2019年2月期 11,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2020年2月期	—	3.00	—	—	—
2020年2月期（予想）	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△1.3	1,200	33.6	1,250	38.1	630	11.6	37.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細については、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期3Q	16,827,120株	2019年2月期	16,827,120株
② 期末自己株式数	2020年2月期3Q	29,509株	2019年2月期	8,289株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期3Q	16,804,948株	2019年2月期3Q	16,818,566株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴い、設備投資の増加や個人消費の持ち直しがみられる等、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等による海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等注視すべき状況が続いております。

当社グループを取り巻く建設業界におきましては、首都圏での五輪関連投資が収束に向かう中で、慢性的な建設技能者の不足や企業間における受注競争の激化等により、依然として予断を許さない状況が続いております。

このような背景のもと、土壌汚染調査・処理事業に加え産業廃棄物等の難処理物案件や災害対応への展開を積極的に進めるとともにリサイクルセンター等における業務効率化やコスト削減策を継続して推進した結果、受注処理単価が上昇し、稼働率が低かった一部リサイクルセンターも改善傾向となり、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高10,665百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益1,009百万円（同38.6%増）、経常利益1,066百万円（同44.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益622百万円（同42.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

（土壌汚染調査・処理事業）

地域間およびグループ間連携の更なる強化や川上営業による新たな需要の開拓に注力しつつ、産業廃棄物等の難処理物営業も強化したことにより、処理量及び処理単価が上向いたことに加え、弥富リサイクルセンターの稼働率が安定し、コスト削減による収益改善等の結果、売上高8,187百万円（前年同期比11.0%減）、営業利益1,023百万円（同4.7%増）となりました。

（廃石膏ボードリサイクル事業）

価格競争が激しくなる中ではあるものの、廃石膏ボードの荷動きは順調に推移し、土壌固化材の販売が前四半期連結累計期間と比較して大幅に増加した結果、売上高1,477百万円（同28.7%増）、営業利益314百万円（同35.0%増）となりました。

（その他）

主に、一般廃棄物処理関連の売上が増加した結果、売上高1,176百万円（同71.9%増）、営業利益239百万円（同239.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は22,084百万円となり、前連結会計年度に比べ678百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金、建物及び構築物、有形固定資産その他が増加し、建設仮勘定が減少したことによりです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は9,130百万円となり、前連結会計年度に比べ15百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金、短期借入金、未払法人税等、流動負債その他が増加し、未払金が減少したことによりです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は12,953百万円となり、前連結会計年度末に比べ663百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が増加したことによりです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年1月6日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表のとおりであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	806,489	1,164,613
受取手形及び売掛金	1,985,248	2,218,182
たな卸資産	381,859	553,120
その他	287,703	481,904
貸倒引当金	△4,313	△4,613
流動資産合計	3,456,987	4,413,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,039,329	6,377,871
土地	8,168,942	8,168,942
建設仮勘定	2,366,008	22,551
その他(純額)	1,567,682	2,196,699
有形固定資産合計	17,141,963	16,766,065
無形固定資産	12,855	15,372
投資その他の資産		
その他	858,539	909,682
貸倒引当金	△64,943	△19,928
投資その他の資産合計	793,595	889,754
固定資産合計	17,948,414	17,671,192
資産合計	21,405,401	22,084,398
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	923,369	1,263,059
短期借入金	1,220,000	1,540,000
1年内返済予定の長期借入金	1,215,727	1,346,329
リース債務	69,641	52,562
未払金	1,454,720	280,839
未払法人税等	56,261	245,748
賞与引当金	60,910	17,232
その他	222,678	513,688
流動負債合計	5,223,308	5,259,459
固定負債		
長期借入金	3,622,509	3,558,012
リース債務	169,131	204,332
退職給付に係る負債	96,142	104,483
その他	4,635	4,635
固定負債合計	3,892,418	3,871,464
負債合計	9,115,727	9,130,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,287,468	2,287,468
資本剰余金	2,082,981	2,082,981
利益剰余金	7,387,284	7,908,363
自己株式	△9,593	△21,794
株主資本合計	11,748,141	12,257,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,115	150,569
退職給付に係る調整累計額	3,063	765
その他の包括利益累計額合計	81,178	151,334
非支配株主持分	460,353	545,121
純資産合計	12,289,674	12,953,475
負債純資産合計	21,405,401	22,084,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
売上高	10,892,731	10,665,826
売上原価	9,075,360	8,538,239
売上総利益	1,817,371	2,127,587
販売費及び一般管理費	1,089,300	1,117,898
営業利益	728,070	1,009,689
営業外収益		
受取利息	30	19
受取配当金	5,220	4,080
受取保険金	17,065	36,303
出資金運用益	1,663	19,813
その他	7,212	10,990
営業外収益合計	31,193	71,208
営業外費用		
支払利息	8,531	9,297
保険解約損	10,157	—
その他	187	5,152
営業外費用合計	18,876	14,450
経常利益	740,387	1,066,447
特別利益		
固定資産売却益	4,097	10,443
補助金収入	—	55,449
特別利益合計	4,097	65,892
特別損失		
固定資産売却損	—	941
固定資産除却損	682	18,808
固定資産圧縮損	—	55,407
特別損失合計	682	75,157
税金等調整前四半期純利益	743,802	1,057,182
法人税、住民税及び事業税	191,639	373,514
法人税等調整額	38,806	△32,904
法人税等合計	230,446	340,609
四半期純利益	513,355	716,572
非支配株主に帰属する四半期純利益	75,607	93,587
親会社株主に帰属する四半期純利益	437,748	622,984

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	513,355	716,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,339	72,453
退職給付に係る調整額	3,549	△2,297
その他の包括利益合計	△63,790	70,156
四半期包括利益	449,565	786,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373,958	693,140
非支配株主に係る四半期包括利益	75,607	93,587

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社グループは、従来、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間から、定額法に変更いたしました。

この変更は、新リサイクルセンターの建設を契機に有形固定資産の使用実態を調査した結果、設備の稼働率や補修費の発生が概ね安定的に推移しており、今後も安定的な稼働が見込まれることから、期間損益計算をより適正に行うためには耐用年数にわたり均等に費用配分を行うことが適切であると判断したためであります。

この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ278,211千円増加しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年3月1日至2018年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,209,757	1,139,307	10,349,064	543,666	10,892,731	—	10,892,731
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	8,266	8,266	140,277	148,544	△148,544	—
計	9,209,757	1,147,573	10,357,331	683,944	11,041,275	△148,544	10,892,731
セグメント利益	976,921	232,600	1,209,521	70,520	1,280,042	△551,971	728,070

(注)1.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業、環境分析事業、BDF事業、PCB関連事業等を含んでおります。

2.セグメント利益の調整額△551,971千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	土壌汚染調 査・処理事 業	廃石膏ボー ドリサイク ル事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,187,510	1,467,555	9,655,066	1,010,759	10,665,826	—	10,665,826
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	9,745	9,745	165,516	175,261	△175,261	—
計	8,187,510	1,477,301	9,664,812	1,176,275	10,841,087	△175,261	10,665,826
セグメント利益	1,023,266	314,240	1,337,507	239,399	1,576,907	△567,218	1,009,689

(注)1.「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境分析事業、BDF事業、PCB関連事業等を含んでおります。

2.セグメント利益の調整額△567,218千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。